



SAP® Business Oneの XL Reporterツールで 正確なレポートを簡単に作成

財務状況と運用状況を的確に把握

SAP® Business Oneアプリケーションは、統合されたレポート機能と財務分析機能を備えたツール、XL Reporterを搭載しています。Microsoft Excelと連携して財務データと運用データへの迅速なアクセスを提供するXL Reporterでは、Microsoft Excel形式のインターフェースと独自のドラッグ&ドロップテクノロジーを使用して、簡単にレポートを作成できます。ここでは、使いやすいインターフェースと包括的なデータによって企業のレポート業務を支援するXL Reporterの機能を紹介します。

多くの中小企業が、業務データに基づく正確でタイムリーな財務レポート作成には頭を悩ませています。多くのレポート作成ツールには、正確な財務データを収集する能力と、これらのデータを使いやすい形式で出力する柔軟性に欠けているからです。

そのため多くの企業では、データを複数のアプリケーションに移し変えた後、それらをつなぎ合わせてレポートを作成している場合があります。しかし、作成された時点で、レポートのデータはすでに最新ではなくなっています。日々の重要な意思決定を、このような信頼性の低い財務データに基づいて行うことは避けるべきです。

中小企業に特化して設計されている統合業務管理ソリューションSAP Business Oneを使用すれば、最新のデータに基づいたレポートを簡単に作成できます。また、XL Reporterを使用して管理ダッシュボード画面を作成すると、販売予約、年初から現在までの収益、売掛金、未処理注文などの主要業績指標 (KPI) を迅速に把握できます。

XL Reporterを活用することにより、ビジネスの総合的な財務状況を正確に把握できるようになります。XL ReporterはSAP Business Oneとシームレスに統合されているため、総勘定元帳、売掛金、買掛金、販売、購買、在庫など、さまざまな管理ソフトウェアや保管場所から抽出されたデータを集約してレポートを作成できます。オンライン分析処理 (OLAP) キューブやその他のデータベースにデータを保存する必要はありません。

SAP® Business OneのXL Reporterツール		
作成	デザイン	管理
ドラッグ&ドロップで、Microsoft Excelテンプレート/クエリーを作成	Microsoft Excelの標準インターフェースとXL Reporterの組み合わせにより、高度なレポートを簡単にデザイン	レポート定義、実行済みレポート、レポートブックを管理/整理
レポートデータから詳細な取引情報にドリルダウン	カスタムパラメーター、数式、レイアウトを作成	フォルダ構造をSAP Business Oneメインメニューで確認
レポート定義ウィザードを使用して、簡単にレポートを作成	完成したレポートを表示/実行	レポートをレポートブックにまとめ、簡単に配布

図1：SAP Business OneのXL Reporter ツール

正確でタイムリーなレポート

XL Reporter では、レポートの作成/実行に使用するツールのすべてが、使いやすく、視覚的に表示されます。レポート内容の操作やSAP Business Oneのデータへのアクセスは、クリックやドラッグ&ドロップで簡単に実行できます。

標準レポートはもちろん、アドホックレポートや詳細データのドリルダウン/分析にも対応しているため、より詳細にレポート作成や予算編成を行うことができます。

また、レポートの分類に役立つ柔軟なパラメーター設定機能、レポート生成のスケジュール設定機能、指定した受信者への自動配信機能も活用できます。さらに、レポートの配布形式(Eメール、冊子など)も指定できます。

短期間で移行可能

XL Reporter は、Microsoft Excelと統合された直観的で使いやすいユーザーインターフェースと、技術的なテーブル構造やフィールド構造のユーザーへの表示を制限するメタデータ層を備えています。XL Reporter に業務やシステムのデータを表示することで、各データを有意義に活用できるようになります。初めてXL Reporterを使用するユーザーでも、ドラッグ&ドロップで、ドリルダウン機能を備えたレポートを短時間で作成できます。

シンプルな取引詳細レポートから高度な財務諸表/ダッシュボードまで、多様なレポートを必要ときにいつでも生成できます。XL Reporterではあらゆるレベルのレポートがサポートされており、データのグループ化や表示を行うことができます。レポートの詳細を知りたい場合は、作成したレポートから直接、簡単に情報をドリルダウンできます。

業務に関わりの深いデータのみをレポートに盛り込むには、日付、顧客、アイテム番号などのパラメーター設定を使用してカスタマイズできます。

XL Reporterで作成されるレポートは、Microsoft Excelを組み込んだユーザーインターフェース構成であるため、ユーザーは書式や計算方法をすぐに理解できます。また、企業ロゴや画像を組み込んで、独自レイアウトの事前定義テンプレートを作成することもできます。作成したテンプレートは、その後さまざまなレポートに適用できます。

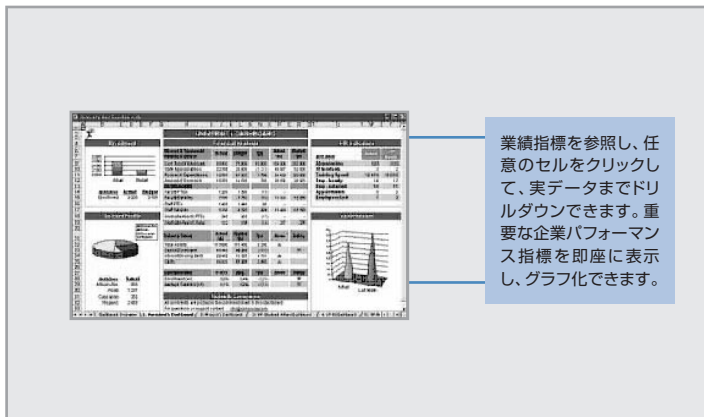


図2: 企業ダッシュボードの作成

XL Reporterでは、ブックまたはフォルダを使うことでレポートの管理を簡素化できます。また、必要に応じて、すべてのレポートを複数のデータベース間でインポート/エクスポートできます。さらに、レポート配信日程を設定して、適宜財務情報を配布できます。

実データに基づく標準/アドホックレポート

XL Reporterのレポート・コンポーザー・ツールでは、ドラッグ&ドロップによってレポートを作成できます。またレポート定義ウィザードを使用すると、誰でも簡単にレポートを作成したり、マウスを数回クリックするだけで、SAP Business Oneデータのカスタムクエリーを作成できます。生成されたレポートでは、気になるデータをドリルダウンし、実際の取引を参照できます。さらに、クエリーの作成中に実データを表示したり、最新情報に更新することも可能です。

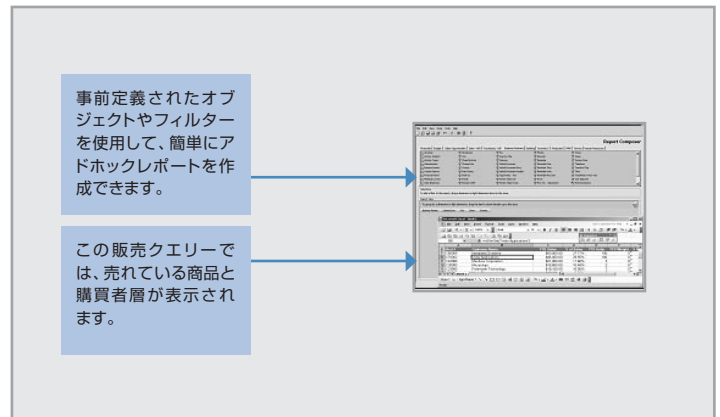


図3: 簡単に実行できるアドホッククエリー

カスタムレポートのデザイン

XL Reporterのレポート・デザイナー・ツールは、レポートを自由に作成し、Microsoft Excelの標準関数/インターフェースとの連携を実現するための高度なオプションを提供します。たとえば独自のパラメーター、数式、レイアウトを簡単に作成し、レポートテンプレートに組み込むことができます。また、Microsoft Excelの図やグラフを使用して、業務管理や管理レポートに活用できる高度なダッシュボード画面を作成できます。もちろん、完成したレポートの実行と表示も可能です。最新データに基づいてレポートを出力することで、常に自社の最新状況を確認できます。



図4: 正確な損益情報に迅速にアクセス

レポートの管理

XL Reporter のレポートオーガナイザー機能を使用すると、レポート定義、レポート出力、レポートブックを管理/整理できます。また、設定したスケジュールに基づいてあらゆるレポートの更新を実施できます。レポートは、SAP Business One のメインメニューから表示/実行できるため、作成プロセスは簡素化されています。さらに、レポートをレポートブックにまとめ、Eメールに添付して指定したユーザーに送信するといった配布業務も簡単になります。

レポートの生成プロセスを簡素化し、ビジネス状況の的確な把握に欠かせない情報を提供する SAP Business One があれば、必要なときにいつでも企業データにアクセスし、アドホックレポートから詳細な財務諸表に至るまで、適切なレポートを生成できるようになります。

SAP Business One を導入すると、ビジネスに役立つさまざまなレポート作成プロセスを簡素化できます。詳細については、SAP 担当者にお問い合わせいただくか、下記の Web サイトをご覧ください。

<http://www.sap.com/japan/smallbusiness>

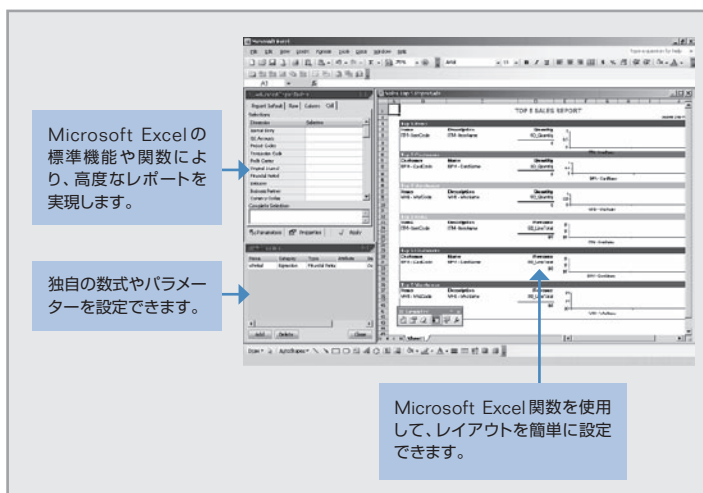


図5: Microsoft Excel の標準機能を活用した高度なレポート機能